

労災ホームヘルパー(A)養成研修が開催されます。

一般財団法人 労災サポートセンター

1 開催目的

当財団では、厚生労働省の委託を受け、不幸にして労働災害を被った重度被災労働者の方で在宅介護を必要とする方に対して、ご本人及びご家族の福祉の充実に努めることを目的として、労災ホームヘルパーを紹介し、介護から家事援助までのサービスを提供するという労災ホームヘルプサービスを実施しています。

この労災ホームヘルプサービスを実施するため、労災被災者特有の障害であるじん肺、せき髄損傷等に係る床ずれ防止、じょく瘡及び排泄処置などの専門的介護に必要な知識、技能を修得するための労災ホームヘルパー養成研修（専門的サービス（サービスA）研修）を開催するものです。

労災ホームヘルパー養成研修の修了者には、「修了証書」と「身分証明書(携帯用)」が交付され、労災ホームヘルパーとして介護に従事することができます。

2 開催日時 平成29年12月4日(月) ～12月8日(金) (5日間)

(午前9時～午後5時。ただし、初日は9時30分開始)

3 開催場所 一般財団法人労災サポートセンター

大阪労災特別介護施設 (ケアプラザ堺)

〒590-0137 大阪府堺市南區城山台5-2-1

電話 072-291-7989

4 受講資格

- ・看護師、保健師等の資格を有している方
- ・厚生労働省の定めによる介護職員初任者研修課程以上を修了している方

5 募集人員 20名

6 研修概要 カリキュラムは、33時間です。

内容は、労災ホームヘルパー(A)養成研修カリキュラムを参照してください。
なお、一部変更が生じる場合もありますので、ご了承下さい。

研修は5日間連続で実施し、補講はありません。

研修会場には午前8時50分までに入室して下さい。

研修を途中で欠席された方には、修了証書の交付はできませんのでご注意願います。また、この場合、下記の交通費・宿泊費についても支給できませんので、ご承知おき下さい。

7 受講費用 無料です。

8 交通費等

- (1) 受講者には、交通費（財団の旅費規程による。）を支給するほか、宿泊を必要とする方には宿泊費(一泊につき5,000円を補助)を支給します。
- (2) 交通費は、自宅及び宿泊先の最寄りの駅から研修会場までのバス、電車の往復の一般公共交通機関利用の運賃を支給します(タクシーを利用の場合、その費用は、自己負担となります)。
- (3) 宿泊を必要とする方は、各自でホテル等へご予約をお願いします。
- (4) 交通費等は、研修終了後、口座振り込みとなります。
- (5) 研修会場へは、泉北高速鉄道「光明池」駅から徒歩約7分です。

なお、研修会場には研修用駐車スペースがありませんので、マイカー利用はご遠慮下さい。

9 受講の際に持参いただくもの等

筆記用具、印鑑、保険証(写)(急病等の受診時に使用)、トレーニングウェア(実習時使用)、運動靴(ハイヒール、スリッパは不可)をご持参してください。

昼食(弁当)、飲み物等は、各自でご用意ください。

10 申し込み方法

「受講申込書」に必要事項を記入の上、直接「一般財団法人労災サポートセンター」あて送付して下さい。お申し込みいただいた方には、後日受講資格を確認の上、「受講票」を送付します。

振込先金融機関、口座名義人、口座番号は間違いのないよう正確に記入して下さい。

11 申し込み期限 平成29年11月10日(金)まで

なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

12 問合せ先 〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-1-3 飛栄九段北ビル10階

一般財団法人労災サポートセンター 在宅介護課

電話 03-6834-2636 03-6834-2650

(担当; 敦澤(つるさわ))

FAX 03-6834-2530

(お問い合わせの際は、電話番号をお間違えないようにお願いします。)

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

労災ホームヘルパー（A）養成研修カリキュラム

講 義 項 目	時 間	講 師	備 考
1 オリエンテーション	0.5	労災サポートセンター	
2 労災保険制度 (1) 労災保険制度の概要 (2) 社会復帰促進等事業の概要等	3	労災サポートセンター	講義
3 介護保険制度 (1) 在宅介護に関する介護保険法等の制度概要	1	介護保険制度 に精通した者	講義
4 労災特有の障害に関する医学的知識 (1) せき髄損傷等 ① せき髄損傷者等の機能障害及び合併症 ② せき髄損傷等の発症及び症状の特徴 ③ せき髄損傷者等における精神障害 ④ リハビリテーション(障害の程度とその影響)(実技) ⑤ 労災重度障害者の介護者の腰痛(実技)	4	医師 (①～③ 時間) (④～⑤ 1 時間)	講義
(2) じん肺 ① じん肺患者の機能障害及び合併症 ② じん肺の発症及び症状の特徴 ③ じん肺患者における精神障害	3	医師	講義
5 労災特有の障害を持つ者の心理 (1) 労災重度障害者の心理状況を踏まえた具体的対応 (2) 労災重度障害者の家庭における家族等との人間関係	2	看護師	講義
6 労災特有の障害に対する対処方法 (1) じん肺患者の呼吸困難の対処方法 (2) せき髄損傷者の褥瘡及び排尿・排便の対処方法	1	看護師	講義
7 介護技術(実技 1) (1) 食事の介護 (2) 入浴の介護 (3) 衣服脱着の介護 (4) 外出時の労災重度障害者における移動の介護 (5) 身体の清拭及び皮膚の異常発見等	3	看護師 介護福祉士等	講義 (実技)
8 介護技術(実技 2) (1) 労災重度障害者の ADL (2) 各種介護機器の取扱い (3) 義肢等補装具の装着	2	看護師 理学・作業療法士 介護福祉士等	講義 (実技)
9 せき損、けい損の排泄介護(実習 1) (1) せき損及びけい損の排尿・排便管理 (2) 尿管カテーテルの交換 (3) 膀胱洗浄 (4) 乏尿、呼吸困難等緊急事故等の対応	3	看護師	実習
10 じん肺、せき損及びけい損の処置等(実習 2) (1) 褥瘡の処置の仕方 (2) せき損、けい損、片麻痺者の体位変換 (3) じん肺者のネブライザー、酸素吸入器の取扱い	3	看護師	実習
11 生活動作の介護(実習 3) (1) 食事の介護 (2) 入浴の介護 (3) 衣服脱着の介護 (4) 移動の介護 (5) 清拭及び陥入爪の処置	4	看護師 介護福祉士	実習
12 介護機器の取扱い(実習 4) (1) 在宅介護における各種介護機器の操作及び取扱い	2	理学療法士 作業療法士等	実習
13 グループ討議	1	看護師	講義
14 修了式	0.5	労災サポートセンター	
合計研修時間数	33		